事業番号	05　03　02

事業改善シート（30年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	医療提供体制施設・設備整備事業	部局	健康福祉部	課・室	医療推進課
		実施期間	S61 ～	E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実

1 事業の概要

現状（予算編成時）	・医療機関における機能の分化・連携、医療施設の環境改善のために施設・設備の整備が必要である。 ・現在の医療機関の病床機能が高度急性期に偏り、今後さらに高齢者人口が増加した場合、特に回復期機能を担う病床の不足が見込まれる。	30年度予算額	834,659 千円
		職員数	0.65 人
目指す姿	・医療機関の施設や不足する設備の整備により、身近で適切な医療が受けられるよう医療提供体制を確保し、医療の地域間格差解消を図る。 ・医療機関が自主的に取り組む病床の機能分化・連携に必要な施設整備を支援し、将来の医療ニーズの増大や地域の実情に応じた病床機能の確保を図る。 （主な実施内容：医療機関の施設・設備整備に対する財政支援）		

事業コスト

区分（単位：千円）		28年度	29年度	30要求	30予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	1,660,579	2,004,126	860,980	834,659
	補正予算	10,159			
	合計（A）	1,670,738	2,004,126	860,980	834,659
Aの財源	一般財源	120,577	245,762	105,970	108,305
	県債				
	国庫支出金	796,259	972,593	346,830	351,347
	その他	753,902	785,771	408,180	375,007
決算額（B）		1,080,034			
概算人件費	職員数（人）	0.65	0.65	0.65	0.65
	概算人件費（C）	5,144	5,144	5,144	5,144
概算事業費（B(A)+C）		1,085,178	2,009,270	866,124	839,803

指標及びその達成状況

No	成果指標	28年度末	29年度末（見込）	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
①	医療施設近代化施設整備事業を行う施設数	1施設	1施設	1施設		
②	医療対策費施設・設備整備事業を行う施設数	12施設	12施設	11施設		
③	へき地診療所数	41施設	41施設	41施設		
④	病床機能分化・連携に関する事業を行う施設数	26施設	30施設	13施設		

成果指標設定理由	①②④各医療機関が医療圏内での役割を踏まえた機能を整備し、適切な医療が提供されるよう、事業を行う施設数を成果目標に設定 ③へき地に住む住民が身近な医療を受けられるよう、へき地診療所数の維持を成果目標に設定

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	・病床機能分化・連携推進事業（基金分） 複数年事業を実施予定の事業者における工程の変更に伴う当該年度分の減

2 事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	30年度 実施内容	職員数（人）	29年度（当初）	30年度（要求）	30年度（予算案）
1	医療施設近代化施設整備事業	医療施設の新築、改築、増築等の施設整備に対し補助	0.05	57,124	1,155	1,155
2	医療対策費施設・設備整備事業	医療施設として必要な施設・設備整備に対し補助	0.20	408,371	123,251	123,099
3	へき地診療所施設・設備整備事業	へき地診療所として必要な施設・設備整備に対し補助	0.10	26,719	10,486	10,486
4	病床機能分化・連携推進事業(基金分)	医療機関における病床の転換、医療情報連携、医療提供体制の強化にかかる施設設備整備に対し補助	0.30	1,511,912	726,088	699,919
		合計	0.65	2,004,126	860,980	834,659